

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社荒馬座
公演団体名	民族歌舞団荒馬座

内容
<p>◆「ソーラン節」の踊りと太鼓</p> <p>【導入】団体紹介 ・ 講師紹介 ・ 「ソーラン節」の説明紹介・実技</p> <p>【展開】</p> <p>・「ソーラン節」の基本の振りの体験</p> <p>ニシン漁の作業 「櫓漕ぎ」「網引き」などを踊りの振りにしたもの</p> <p>かんたんな振りを体験する みんなで息を合わせて踊る 太鼓と唄に合わせて踊る</p> <p>・「ソーラン節の踊りに合わせた伴奏の太鼓」の体験 ※○…右 ×…左</p> <p>基本のリズム ♪ドン○ドン×ドン○♪ ソレ</p> <p>♪ドン○ドン×ドン○♪ ソレ（カッ○カ×…縁打ち）</p> <p>大太鼓で 小太鼓で</p> <p>♪ドーン○コ×ドン○ドン×ドン○ソレ（カ○カ×カッ○カ×…縁打ち）</p> <p>唄と踊りに合わせて叩いてみる</p> <p>【まとめ】 ・ 感想 ・ 本公演の予告…説明紹介</p> <p>※公演で叩く代表の児童数名を選んでもらう</p>

タイムスケジュール（標準）
※1校時（45～50分）で対応
・導入…10分
・展開…30分
・まとめ…5～10分

派遣者数
5名（主指導者：1名／補助者：4名）

学校における事前指導
特に必要なし（学校に和太鼓があれば当日会場に持ってきてもらう）

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社荒馬座
公演団体名	民族歌舞団荒馬座

演目
祈りの祭—日本の芸能 北から南から ◆ソーラン節 ※児童生徒の代表の太鼓の伴奏で踊ります ◆アイヌの唄と踊り エムシリムセ(剣の舞) サロルンリムセ(鶴の舞) クリムセ(弓の舞) トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』 ◆沖縄の唄と踊り 三線演奏・唄『ていんさぐぬ花』 国頭サバクイ 豊年踊り シーサー エイサー ◆ぶち合わせ太鼓 (予定)

派遣者数
5名(出演者)

タイムスケジュール(標準)
8:00 着・搬入・舞台設営・リハーサル (11:00~12:00) 事前ワークショップ ※事前にWSの日程が取れなかった場合 13:30 開演 14:30 終演・片付 16:30 退出

実施校への協力依頼人員
・ 体育館鍵開け担当 ・ 「事前ワークショップ」担当の方 ・ 入場整理の方、司会進行の方 ・ 教職員・保護者・地域の方々用のパイプ椅子(シート敷き)の出し入れに必要な人員

演目解説

◆ソーラン節

北海道のニシン漁の作業唄から創られた踊りです。漁のさまざまな作業が踊りの振りとして表されています。「事前WS」で練習した児童生徒の代表の太鼓の伴奏で踊ります。

◆アイヌのうたと踊り

アイヌ民族は自然と共に生きる思想を受け継いできました。身の回りの自然や虫や動物すべての命を大切に親しんできたので、自然や動物にまつわるたくさんの唄や踊りが生まれました。

・エムシリムセ（剣の舞）悪いものを祓う剣の舞。力強く刀を振りかざし、勇ましいかけ声とともに、刀を激しくぶつけ合って踊ります。

・クリムセ（弓の舞）弓を持った狩人が、美しい鳥に出会い弓を引こうとしたが、撃つことができなかったという踊りです。

・サロルンリムセ（鶴の舞）鶴の親子の情愛を表した踊り

・トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』

アイヌ民族の弦楽器トンコリの演奏。恋人たちの愛情を歌った唄です。

◆沖縄の唄と踊り

沖縄には助け合う共同体をさす「結まーる」という言葉があります。過酷な自然と歴史を背負ってきた沖縄の人々は、つらい時も嬉しい時も、うたを唄い踊りを踊って皆で力を合わせて乗り越えてきました。

・国頭サバクイ 力を合わせて山から木を切り出し運ぶ踊り。

・豊年踊り～シーサー 働き者のおじいとおばあがユーモラスに踊ります。シーサーは沖縄の獅子、厄除け厄払いの芸能、大きな口を開けて幸せを運びにやってきます。

・エイサー

旧盆の時期に、青年たちが唄・三線にのって太鼓を打ち鳴らしながら踊って町を夜通し練り歩きます。青年たちが熱気あふれる太鼓踊りを奉納して、祖先への感謝を表します。

◆ぶち合わせ太鼓

漁師町で大漁を願い、天下太平を願って叩かれてきた力強い太鼓囃子です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

・「ソーラン節」では、ワークショップで体験した和太鼓で代表の児童に登場してもらい、その太鼓の伴奏で演技者が「ソーラン節」を踊る。

・アイヌの踊りでは、踊りの拍子として児童の手拍子をお願い上演する。

・「豊年踊り～シーサー」では、厄除け、厄払いの願いを込めて、客席に入り児童の頭を噛んで廻り、交流する。児童先生の代表に舞台に出てきてもらいシーサーが頭を噛む。

児童生徒とのふれあい

・「ソーラン節」では、ワークショップで体験した和太鼓で代表の児童に登場してもらい、その太鼓の伴奏で演技者が「ソーラン節」を踊る。

・アイヌの踊りでは、踊りの拍子として児童の手拍子をお願い上演する。

・「豊年踊り～シーサー」では厄除け、厄払いの願いを込めて、客席に入り児童の頭を噛んで廻り、交流する。